

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム慈恵荘

## 目標達成計画

作成日: 令和 4 年 12 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	備蓄の整備状況を職員が把握するためにも、備蓄の管理者の選任と一覧表の掲示に期待する。また、避難先で円滑に必要な入居者情報を伝えられるよう、緊急時に持ち出す入居者情報一覧にある基本情報について、入居者の状態が即座に分かる写真(車いす・杖歩行)を加えることが望ましい。	備蓄担当者を決める。 各利用者の身体状況の把握に努める。	備蓄担当者を決め職員へ周知する。 情報があるに新たに身体状況を記載もしくは写真に掲示する。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。